

第 225 回浜田市教育委員会定例会議事録

日 時：令和 6 年 3 月 21 日（木） 13：30～14：32

場 所：浜田市役所北分庁舎 2 階会議室 1

出席者：岡田教育長 杉野本委員 岡山委員 倉本委員 浅津委員

事務局 草刈部長 藤井課長 松山担当課長 永田担当課長 鳥居室長
山本課長

書記：日ノ原係長 皆田主任主事

議事

1 教育長報告

2 議題

- (1) 浜田市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について（資料 1）
- (2) 浜田市教育委員会事務処理規則の一部を改正する規則について（資料 2）
- (3) 浜田市文化財審議会委員の委嘱について（資料 3）

3 部長・課長等報告事項

4 その他

- (1) その他

1 教育長報告

岡田教育長

午前中の社会教育委員との意見交換会に引き続きご苦労様です。早いもので、令和 5 年度もあと 10 日あまりとなった。

先週までに、幼稚園や小中学校の卒園式、卒業式が無事行われ、教育委員の皆さん方には出席をしていただいて、告辞も届けていただいた。

あわせて、雲雀丘小学校と第四中学校の閉校式にも出席していただいて、3 月は大変多忙な期間だったのではないかと思います。ご協力をいただきありがとうございます。

また、この月曜日に 3 月議会が閉会し、来年度の当初予算のご承認をいただいた。それから今日と明日だが、教職員と浜田市役所の職員の人事異動が記者発表される。新年度に向けていろいろなものが動き始めている。

私も今議会で、2 期目の教育長を務めさせていただくことにご同意をいただいた。微力ではあるが、これからも教育行政に丁寧

に取り組んでいきたいと思っている。委員の皆様、引き続きお力添えをお願いしたい。それでは、資料に沿って活動報告をさせていただきます。

① 2月26日（月）3月議会開会（提案説明、全員協議会）

2月26日から開会した3月議会である。

ここで教育方針を述べた後、個人一般質問、総務文教委員会、予算決算委員会等があり、3月18日に議案が採択され閉会した。

今議会で特に注目が集まったのが、石見神楽を伝承していくための事業であったと思っている。

新年度に、教育委員会の中に神楽文化伝承室を設置して、市議会の石見神楽振興議員連盟の皆さんとの意見交換や専門検討委員会の設置なども行いながら、伝承館という建物整備の前に必要な機能についての、ソフト面での研究をしっかりと進めていくということになった。

また成果や今後の活動などについては報告をさせていただきたいと思っている。

② 3月5日（火）美川小学校建替え計画地元説明会（美川まちづくりセンター）

3月5日に、美川小学校の建て替え計画案について地元説明会を行った。新設する校舎のコンセプトが、地域に開かれた複合化した施設にしようということで、それについてはご理解いただいたと感じている。

一方で、より安全な防災拠点にするために、いくつかご意見も出たところであり、その対応について今後検討していきたいと思っている。

③ 3月21日（木）社会教育委員との意見交換会（講堂）

それから今日の午前中、社会教育委員の皆さんとの意見交換会があったが、これからの小中学校のコミュニティスクール化を進めていくうえで、やはり学校教育と社会教育の連携は不可欠ではないかと思っているので、こうした機会を持ちながら、方向感を合わせて、共有をして進めていけたらと思っている。

以上、簡単だが、このひと月の活動報告に代えさせていただく。これまでのところでご質問等はないか。

特になし

それでは議題に移らせていただく。

各委員
岡田教育長

2 議題

(1) 浜田市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について（資料 1）

日ノ原係長

資料 1 をご覧いただきたい。令和 6 年 4 月 1 日付の機構改革に伴う内部組織及び分掌事務についての改正である。

まず 1 つ目の内部組織の改正であるが、現在の文化スポーツ課を文化振興課及びスポーツ振興課に再編、スポーツ振興課の方に「高校総体・国スポ・全スポ推進室」の新設、文化振興課に「神楽文化伝承室」の新設である。

新旧対照表の方、裏面をご覧いただき、左側の方が現行、右側が改正後（案）という形で、令和 6 年 4 月 1 日の機構改革を加味したものである。太字のところが、名称が変わったり新規で入ったりしたものである。

続いて新旧対照表の次のページをご覧いただき、分掌事務である。スポーツ振興課の方については、スポーツ振興係で 1 から 8 までは現在ある事務である。新たに、現在は文化スポーツ課で芸術文化振興係が課の庶務をやっているが、今後スポーツ振興課になった際に、スポーツ振興係で 9 番、課の庶務に関することを分掌していただくため追加をしている。

続いて、高校総体・国スポ・全スポ推進室であるが、こちらの方は新規であるため、(1) から (3) 全てが新設で、こちらの室ではこの 3 つについて分掌するという形になっている。

続いて、文化振興課であるが、芸術文化振興係、文化財係については変更はない。一番下、新設される神楽文化伝承室の分掌事務については、最後の方、「石見神楽文化の伝承に関すること」が分掌事務という形になっている。

岡田教育長

説明があったように、これまで文化スポーツ課が非常に多くの業務を抱えており、令和 7 年には高校総体の体操が浜田市で開催されるし、令和 12 年には、国民スポーツ大会、全国障害者スポーツ大会も開催されるということで、そのための準備も進めなければならない。そのようなことも考え、文化スポーツ課を 2 つに分けることの提案である。

あわせて、石見神楽についても浜田市の本当に重要な文化であり、大事にしていかなければならないと思っている。観光交流課の中に石見神楽係というのはあるのだが、神楽の大衆性とか観光面ではなくて、文化面を大事にするため、この教育委員会の中に

各委員 岡田教育長 各委員 岡田教育長	には合わせていこうということの提案であった。 この件について委員方から何か質問等あるか。 特になし。 それでは、この件についてはご承認をいただけるか。 全会一致で承認 ありがとうございました。
------------------------------	---

(3) 浜田市文化財審議会委員の委嘱について（資料 3）

山本課長	資料 3 をご覧いただきたい。浜田市文化財審議会委員の委嘱についてである。文化財審議会委員については、教育委員会の附属機関として教育委員会が任命を行っているところだが、任期が 2 年となっていて、今年の 3 月で任期が終わる。 再任だが、この資料に記載している 10 名を新たに委員として委嘱を考えている。これは、浜田市文化財保護条例に基づいており、その中で、定数は 15 名以内となっているため、この度、10 名を委嘱したいと考えている。
岡田教育長	現在 13 名おられるが、3 名の方から、年齢等の理由により、更新は難しいということで、後任の方は特に考えずに、10 名とした。県内に同じ様な委員方がいるが、他市と比べても浜田市は以前から多かったこともあり、10 名くらいが適正人数であるということで、新しい方は委嘱せず、現在の方 10 名で委員をお願いしたいと思っているため、よろしくお願いします。 ただいまの提案についてご質問等あるか。
山本課長	1 つ質問だが、3 名の委員方が辞められても、選出区分については、これまで通りの分野からの委員方はおられるということか。 3 名の方で、考古、歴史、民俗の方が辞任されるが、考古については現状ないが、歴史や民俗は、1 番の浅沼先生でカバーできるため、その辺は大丈夫である。
岡田教育長 委員方 岡田教育長 各委員 岡田教育長	委員方、何かご質問等あるか。 特になし。 ただいまの委員の変更について、ご承認いただけるか。 全会一致で承認 ありがとうございました。

3 部長・課長等報告事項

草刈部長

令和6年度 一般会計補正予算（第1号）説明資料（資料4）

資料4をご覧いただきたい。令和6年度一般会計補正予算（第1号）説明資料である。3月議会は2月26日から3月18日の22日間行われ、当初予算については前回説明した。

追加提案としては3月18日に第1号が追加され、結果としては提案どおり認められたが、その内容について説明する。1ページ目の編成概要だが、今回の補正予算はプレミアム付「はまだ応援チケット」第4弾の発行に要する事業費、教員の業務支援を行うスクールサポートスタッフを全小中学校に配置するための事業費、事業費の年度間調整等を行ったものである。2の予算規模だが、補正額としては1,347,320千円の減額ということで、補正後の予算総額は37,795,355千円ということになる。

個別の内容については2ページの10の教育費のところ、補正額7,635千円ということで、編成概要のところにもあったが、4ページ、番号7の学校支援員配置事業ということで、国の配置方針を踏まえ、全小中学校に対してスクールサポートスタッフを配置するための追加の予算計上である。

個人一般質問通告一覧（令和6年3月浜田市議会定例会議）（資料5-1）

令和6年3月定例会議答弁準備原稿 個人一般質問用（資料5-2）

続いて資料5の1と5の2である。こちらの方は個人一般質問の通告一覧と答弁書である。今定例会議は委員会代表質問はなかったので、教育委員会関係は個人一般質問のみである。個人一般質問は、2月27日から3月1日の4日間で行われた。全体として、19人152項目あり、そのうち教育委員会関係は10人の24項目となっている。教育委員会関係の質問であるが、まず1人目の村武議員だが、2の（1）のところで2点質問があり、幼児教育センターの今年度の取組、それから来年度の取組についての質問であった。2人目は佐々木議員だが、こちらの方は、1の方で1点、これは、浜田郷土資料館の建替え整備に関して、世界こども美術館併設案から変更となった理由を聞かれた。2の方については、こちらにも2点あり、サン・ビレッジ

浜田アイススケート場の関係であるが、1 点目としては、屋内案、人工芝施設と板張りの体育館、こちらの施設の収入の根拠となっている利用者数や利用料の積算根拠についてと、もう 1 点目はスケート場を広域で支えることの協議はどうなったかについての質問であった。

3 人目の牛尾議員であるが、1 のところで 2 点あり、郷土資料館の建設予定地について、浜田城資料館の隣接地を候補地に挙げた理由についてということと、石正美術館の建設の経緯ということ、浜田に美術館が 2 つあるが将来的には維持が難しいのではないかというような質問であった。

4 人目の大谷議員であるが、こちらは 2 の (1) のところで 1 点、大学入試共通テストの地理で浜田を題材にした問題が出題されたことについて、同じく 2 の (2) の方で、高校生学芸員の研究成果とかプロジェクトの評価についてということであった。

もう 1 点、2 の (3) のところで地域系部活動のねらいや具体的な活動について、それから 2 の (4) で 2 点、建替え計画の資料館における文化財の収蔵の想定点数についてと、デジタル化の作業施設の整備が必要ではないかというところの質問であった。

答弁としては資料 5-2 にあるので後でご覧いただきたい。

それから 4 の 3 の (1) のところで 2 点、理数教育の充実に関するものであるが、これまでの成果及び今後の課題と、浜田高校理数科への進学者数の動向についての質問であった。

次に資料 5-1 の 2 ページ、7 番目川神副議長である。2 (1) で 1 点、石見神楽、石州半紙、北前船寄港地保存活用の取組状況、(2) で石見神楽の教育カリキュラムへの導入についての質問であった。

9 人目の小川議員であるが、大きい 2 番で 3 点質問があり、聞き取り困難症の現状把握について、「APD マーク」、聴覚情報処理障害のマークであるが、これのツールの活用について、聞き取り困難症への対策としての教職員研修の実施や国・県への対応策や支援策を求めることについての質問であった。

10 人目の肥後議員であるが、大きい 1 番で 1 点、これは浜田市の学校におけるデジタル・シティズンシップ教育の取組について、デジタルツールを用いて社会に参加するための知識や能

岡田教育長
各委員
藤井課長

力を学ぶことの取組についての質問であった。

3 ページ目、16 人目の布施議員であるが、1 の (1) で 1 点、青少年への石見神楽の魅力発信についての質問であった。

17 人目の芦谷議員であるが、大きい 4 番で 2 点あり、高校の寮の整備の進捗状況及び 6 年度の入寮生の見込みについての質問であった。もう 1 点は、専修学校なども含めた学校の魅力化の取組についての質問であった。

それから 18 人目の柳楽議員であるが、1 の (1) 学校の健診におけるプライバシーへの配慮の対応ということで 1 月 22 日付の文科省の通知があった件に関する質問であった。

資料 5-2 の方に答弁の内容があるので、また目を通していただければと思う。

ただいま、3 月議会の補正予算と一般質問の主な項目について情報提供させていただいた。これらについて質問等があるか。

特になし

行事等予定表 (資料 6)

資料 6 の行事等予定表を説明させていただく。3 月 21 日から 4 月 30 日までの行事予定である。教育委員方に特に出席をお願いしたいところについては、丸印をつけている。

3 月 29 日 (金) に、教職員辞令及び感謝状交付式が行われる。この定例会が開催される少し前にお手元に担当課より案内文を配布しているため、よろしくお願いします。

4 月 8 日から 4 月 10 日にかけて、小学校中学校の入学式、幼稚園の入園式が行われるが、この後の会で改めて確認させていただく。

第 226 回教育委員会定例会については、4 月 25 日 (木)、14 時半から浜田市役所本庁 4 階講堂 AB で予定されているためよろしくお願いします。

小中学校閉校式及び閉校記念行事について (資料 7)

資料 7 をご覧いただきたい。今年度末をもって閉校となる第四中学校と雲雀丘小学校の閉校式及び閉校記念行事を開催したため報告する。

まず、第四中学校は、3 月 17 日 (日) に行われた。一部の教育委員会主催の閉校式典については、150 名の参加者があり、

そのあと続いて地元の閉校記念の集いについては、プラス 150 名を超える参加者があり、300 名を超えていたと聞いている。

裏面にいき、昨日 3 月 20 日に雲雀丘小学校の閉校式が行われた。こちらは、一部の式典には 260 名の参加があった。二部の閉校記念行事「ありがとう雲雀丘小学校」については、一部の参加者プラス 40 数名が参加され、合計約 300 名の出席となったというふうに聞いている。

両日とも教育委員方にもご参加いただき、ありがとうございました。

旭図書館に対する寄付金の贈呈式について（資料 8）

資料 8 をご覧いただきたい。旭図書館に寄付があったため、お知らせする。この度、寄付の申し出があった公益財団法人ごうぎん文化振興財団については、山陰両県で教育活動の充実や文化芸術の創造・普及とスポーツの振興等を奨励し、地域の発展に寄与していくということを目的とされ、設立された財団である。

活動の一環として、毎年、島根・鳥取の両県で、市町村立図書館 6 つに、1 館あたり 5 万円ずつの図書カードの寄付をいただいている。

昨年度の 2022 年度は、弥栄の図書館に 5 万円の寄付をいただき、今年度 2023 年度については、旭の図書館に 5 万円の図書カードの寄付をいただいた。教育部長が 2 月 8 日に受け取らせていただいた。報告は以上である。

ただいまの 3 点の報告について、質問等あるか。

特になし。

岡田教育長
各委員

松山担当課長

西野チセ女史頌徳碑の移設について（資料 9）

西野チセ女史頌徳碑の移設をしたため、報告させていただく。頌徳碑については、浜田幼稚園を昭和 15 年に旧商工会議所付近に建て替えを行った際に、多額の寄付をされた西野チセ女史の功績を称え、建立された。

これまでは原井幼稚園の中に設置されていたが、今回原井幼稚園が閉園し、跡地売却の方針が決まったため、当時浜田幼稚園があった浜田商工会議所跡地付近に移設を行ったものである。

岡田教育長
各委員

資料には、本年 3 月中に移設予定としているが、本日付けのところでもう移設が完了しているため、浜田商工会議所付近に行かれた際には、ご覧いただけたらと思う。以上である。

ただいまの件について、ご質問等あるか。
特になし。

永田担当課長

安城まちづくりセンターの文部科学大臣表彰受賞について（資料 10）

午前中は、社会教育委員の会にご出席いただきありがとうございます。その際に出た意見については今後のセンター活動に役立てて、つなげていきたいと思う。よろしくお願いします。

資料 10、安城まちづくりセンターの文部科学大臣表彰受賞についての報告である。第 76 回優良公民館文部科学大臣表彰が 2 月 9 日に開催され、安城まちづくりセンターが受賞された。

開催方法については対面及びオンラインということで、安城まちづくりセンターについてはオンラインで表彰式に参加された。表彰状の授与については、3 月 13 日に安城まちづくりセンターにて行った。

この優良公民館表彰については、公民館の事業内容・方法等、工夫を凝らした活動を行い、その活動成果を生かし、人づくり・まちづくり・地域づくりに大きく貢献しているものを文部科学大臣が優良公民館として表彰するもので、浜田市においては、この安城の公民館が 5 館目ということになる。島根県においては、今年度 2 館受賞されている。

この安城まちづくりセンターが表彰された功績としては、地域の朝市「や市」を平成 23 年頃から開催しているが、その事務局を担っていることや、弥栄町のみらい便りやホームページ及び SNS 等、様々なツールを活用し、町内外への情報発信をしていること、放課後子ども教室マジ・スクールを平成 27 年から町内小中学生を対象に開催していることである。主な特徴としては、子どもの居場所づくり、勉強場所の提供だけではなく、教室の支援員に地域住民にお越しいただき、地域住民がお持ちの知識や技能の活躍の場になっているというところが認められ今回表彰された。

報告については以上である。

岡田教育長

ただいまの件について、質問等あるか。

各委員

特になし。

鳥居室長

令和5年度 浜田市小中連携教育実践記録集（資料11）

令和5年度 浜田市小中連携教育実践の概要（資料12）

資料11、資料12は、小中連携教育の実践に係るものである。

冊子になっている実践記録集は、各中学校区から提出された報告を基にして作成している。非常に長くなっているため、資料12のリーフレットをご覧いただきたい。各中学校区で、特徴的なものを選んで原稿として提出いただいたものである。実践記録集の中にもこれに関するものは含まれている。

まず、小中連携教育実施の概要というリーフレットの裏面中央に、令和5年度の振り返りということで、最終的な目標値に対する今年度のそれぞれの結果を数値として出している。①の1番上のところに、中学校で、ちょっと太字で2年、40.6%というのがあるが、これが◎になっている。◎は目標値、これを達成したものである。それから、○のついているものがあるが、同じく中学校2年生の63.3%が○になっていたり、その下のところは、小学校5年生のところに○がついている。これは、スタート値の令和2年度の値を上回ったものということで、印がついている。

若干、○が増えてきているため、各中学校区が取組、成果を上げていきつつ、リーフレット表面に「夢を持ち郷土を愛する子ども」と黄色で文字を強調しているが、ここの中段に青い四角枠で、その中で、①②③④と記載されている。この①から④の中で特徴的な取組を各中学校区に報告していただいたものをリーフレットにした。

今見ていただいた紙面の左側の中学校区で一体となった生活習慣づくりは、①に相当する部分である。3つの中学校区から報告をいただいている。全ての中学校区が、自分で計画を立てて取り組んでいく家庭学習に関わる取組をあげていただいている。家庭学習のところに焦点を当てることで、自分でタイムマネジメント力を育てていく。そういったところで取組をしていただいている。

裏側を見ていただくと、左側に、学校不適応を考慮し、変化に対応できる子どもの育成とあるが、これについては、特徴的なものが左上の小学校高学年交流授業「夢授業・志授業」とし、

外部から講師を招き、5年生は浜田商業高校の5名、6年生は鳥取立志教育プロジェクト実行委員会の松井裕志先生を招きワークショップを行った。これは、特徴的な今までにない取組となった。

中央のところは、学ぶ意欲を高め、夢や希望に向かって努力する子どもの育成とあるが、三中校区が数学に焦点を当て頑張ろうということで、校区全体で取り組んだという特徴的なものである。

その下のふるさとを愛し、ふるさとを誇りに思う子どもの育成は四中校区だが、地域貢献ができる子どもということで取り組んだところを掲載している。

右の上のところでは、ふるさとのことだが、地域や社会を良くするために考えることがあるというのも、数が少ないという実態を踏まえて、改めて今までの取組を強化して行ったというかたちになっている。

以上、小中連携教育について報告をさせていただいた。詳しくは、実践記録集等ご覧いただけたらと思う。

第11回（3月）市校長会資料（資料13）

資料13をご覧いただきたい。これについては、3月の校長会で報告したものである。まずは、学力調査の結果（概要）について報告させていただく。

資料Aとして、報告文書もつけている。また細々したところは見えていただければと思うが、校長会で報告した資料に沿いながら、お話をさせていただければと思う。

まず(1)平均正答率の県と全国との差について、数値の詳しいところは載せていないが、先ほど言った資料Aの1ページ目には、具体的な数値が出ている。

小学校については、国語、算数は全国と比較すると下回っているが、県との比較では、算数はほぼ同程度となった。

それから中学校の正答率は、国語、数学、英語とも下回って、課題がある。

(3)の県平均正答率差の経年比較についてだが、令和4年度をご覧いただきたい。共通して落ち込みが見られる。中学校1年生の英語、2年生の数学以外は、概ね回復傾向が認められるということである。

それから、1枚めくっていただき、またグラフが出てくる。当該学年の経年比較ということで、上の小学校6年のところで、5年生の時の数値と6年生の時の数値を比較してある。いずれの学習についても概ね改善傾向があるだろうというふうに見ている。

ただ、現中学校2年生で、先ほどの令和4年度、いわゆる中学校1年生のときに落ち込んでいる。今年度持ち直し、回復傾向にはあるが、数学については少し課題があった様に見ている。

それから3ページ、生活・学習に関する意識調査の状況である。まず、今見ていただいている一番下の表は、市の振興計画と、教育委員会が教育振興計画の目標として掲げてある項目をピックアップしたものである。

小学校5年生と中学校2年生の令和5年度を見ていただくと、下線がしてある。下線がしてあるものは、前回よりも上回っている。いわゆる改善傾向にあるというもので、割と多くのものが改善傾向にあるというふうに見ていただければと思う。

1枚めくっていただき、4ページ、県学力調査の中で授業改善に関わる質問をピックアップしたものである。

これは、小学校6年生と中学校2年生について、小学校については5年生の時と6年生を比較している。中学校2年生では1年生の時と比較してみた。これも同じ様に、改善傾向にあるものには、下線がしてある。多くのところに下線がついているため、先生方の授業改善の状況が、子どもたちの実感として伝わっていくのであらうと思っているところである。

5ページからは今後の対応ということで、我々が今後どの様にしていこうかということを示しているが、主として授業改善プランの「子どもの声でつくる授業」を重視しながら進めていくということで考えている。

1枚めくっていただいて、6ページである。学力調査結果から明らかになっている課題解決へ向けてということで、これは県の学力調査だけではなく、全国の学力調査を含める。浜田市の子どもたちの課題は、限られた時間で、多くの情報の中から課題解決に必要な情報を収集して考え、根拠を明確にして筋道を立てて表現とあるが、表現方法はいろいろある。文章であったり、音声言語であったりするが、ここが課題である。これに

向かって、令和6年度の教育方針でも、四角囲いの中に強調してあるが、「協調学習」や「図書館活用教育」を柱としつつ、読解力育成のための要約学習にも取り組むと示してある。

先ほどの浜田市の子どもたちの課題に向かって、有効な手法の1つが要約学習であろうと思っている。来年度、各学校でそれぞれに要約学習に取り組んでくださいということを校長会で伝えた。授業時間の中に取り込むのは、なかなか頻度として難しい。従って、朝の活動、朝の学習のところで、あるいは家庭学習のところで取り組んでいく方法を考えてくださいと伝えている。時程等にも関わってくるため、検討をお願いするということで、あらかじめお知らせをしたものである。

6ページにホームページのイラストが貼りつけてあるが、その左側のところに、文章を読んで図式化する時間は、鳥田先生のプランでは8分である。それを基にしてメモを作り、図式を基に相手にプレゼンする時間は、1回につき40秒。従って、8分プラス40秒で1回分の取組が終わる。従って朝の活動でもできます、ということをお願いをしたところである。

来年、ここの辺のところの力を入れながら、浜田市の子どもたちの課題解決に向かっていこうと思う。

以上である。

岡田教育長

ただ今の小中連携教育ならびに学力調査結果について、ご質問等あればお願いします。

杉野本委員

数字をしっかりと示され、経年比較をされていて、それがプラスに動いていることを先生方が見られ、非常に喜んでおられるのではないかと思います。そこの辺り、頑張りを伝えられてよかったなと思う。

要約学習については、全部の学校にということであるが、その辺り校長先生方の受け止めはいかがか。

鳥居室長

反対意見は出なかった。

杉野本委員

原井小やそれから松原小は、積極的に取り込んでいた。その辺りの成果的なものは、まだ出てこないか。その辺りからも、もう少し後押しになる様な言葉が、校長会の中でも広がっていくといいかなという気がする。

鳥居室長

指定校の松原小と原井小では、子どもたちの力が伸びている。特に、年間を通じて帯でやっている松原小学校では、子どもたちの力がついていくということは、校長先生方に口頭では

杉野本委員
岡田教育長
各委員

話している。また、学力向上推進室便りで要約学習の取組についてはそれぞれ学校へ発信しているため、状況は把握していただいているのではないかと思います。

承知した。取組に期待したいと思う。
その他はよろしいか。
特になし。

山本課長

浜田市資料館運営協議会委員の委嘱について（資料 14）

資料 14 をご覧いただきたい。浜田市資料館運営協議会委員の委嘱についてである。

資料館運営委員の委嘱についてだが、こちらも先ほどの審議会の委員と関連するが、任期が 2 年となっている。こちらの方は、浜田市資料館運営協議会条例に基づき、資料館等の円滑な運営を図ることを目的として、10 名以内の委員、任期 2 年間で構成している。

この度、3 月 31 日に期限が来るため、委員を委嘱したいと考えている。7 名であるが、現状でいうと 10 名の方が委員でおられ、審議会委員と重なる 3 名ともう 1 名の方が年齢的なところから辞退された。それで 6 名となったが、新たに番号 2 番、世界こども美術館館長の石本一夫さんに新たにお願いしたいと考えている。

これは、自ら学校に対しての活動や地域に対する活動等についても非常に取り組んでおられるため、そういった面で何かご意見等いただければと思い、新たに委員の方に加えたいと考えている。全部で 7 名の方で、新たに委嘱をしたいと考えている。先ほどの審議会委員と同様に、選出区分については、バランスの方は特に問題ないと考えている。以上である。

岡田教育長
山本課長

これは報告になるのか。

そうである。浜田市文化財審議委員会の方は附属機関で、こちらは附属機関ではないためである。

岡田教育長
各委員

このメンバーの人選等についてよろしいか。
特になし。

4 その他

(1) 島根県教育委員会教育長に対する緊急要望活動について

資料 15 を用意しているが、島根県教育委員会教育長に対して、県内の市町村教育委員会連合会から緊急要望活動を行った。このことについて、私から説明をさせていただく。

要望日時については、2月15日である。活動参加者の代表者については、資料の通りである。

1枚めくって、要望書をご覧いただきたい。3ページにある要望の背景について説明をさせていただく。実は、島根県知事が、子どもたちの基礎的な学力が、国全体として十分ついていないのではないかということで、島根県の方で年末に、ふるさと教育の運用について見直すという記事が出たことを覚えておられると思う。このことが、市町村教育委員会に十分な説明がないままに報道に流れたため、これまで島根県でも教育の柱の1つに位置付けていたふるさと教育が、縮減されていくのではないかという様な受け止めをされた方もおられたと思う。

このことに対して市町村の教育長会で少し意見交換をしたが、そこでは、やはりふるさと教育の時数を見直しても、根本的には学校の授業の時数というのは決められているため、なかなか減るものではないだろうということで、これが基礎学力の定着に結びつくかどうかというのは、十分な検証がいるという考え方がある。

今後、学力の向上を図ろうと思うと、授業の改善や、教育現場にやはり多くの人を配置するという方がより効果的なのではないかということで、そうした意見をまとめて、今回の要望書にさせていただいたものである。

さらに、これからいろいろな諸問題の解決に向けては、県教育委員会と市町村の教育委員会が一体となり、関連施策を推進していくということが極めて重要なため、このことに関して、特に小中学校を所管する市町村教育委員会と、県も何となく高校の方は非常に力を入れておられるが、義務教育のことに関して、少し市町村から見ると見えづらいことがあるため、改めてそこにも力を入れてもらいたいという背景から要望に至った経緯である。

4ページを開いていただきたい。今回、要望に上げたのは、こちらの4ページにある4点である。

1つは、ふるさと教育の運用の見直しを再考していただきたいということで、ふるさと教育の意義と効果についての県の考

え方もしっかりまた伝えていただき、島根の学力育成推進プランに掲げた取組の柱であるはずのこのふるさと教育と、これからそれを推進していくことの関係性について、適切な判断を行っていく様に求めたものである。

それから、2 点目についてだが、県の教育委員会が進めるいろいろな事業や調査等についての事業評価や分析を踏まえて、学力向上のための組織を立ち上げてもらいたいということで、具体的には、県の方に「(仮称) 学力向上推進会議」の設置を求めるものである。

それから、3 点目に、ICT の活用教育について、これも県教委が主体的な役割を担う「(仮称) ICT 活用教育推進会議」の設置を求めたものである。特に、ICT の活用については今、GIGA スクールで整備していただいたいろいろなタブレットについても更新の時期を迎え、これらが十分教育現場で使われていなければ、満額更新のための経費がつかないのではないかという懸念もあり、みんなで使用していくために県と一緒にやって欲しいということでの、この組織の設置要望になっている。

それから、4 点目に、県の教育庁内へ義務教育を振興するための専任課を設置してもらいたいということで、以前は島根県の教育委員会の中に義務教育課があったが、今はなくなっている。改めてそうした専任課「(仮称) 義務教育課」の新設を求めるというものである。

これに対し、次のページに、県の教育長から回答があるため、またご覧いただきたいと思います。

大きなところでいうと、ふるさと教育の運用見直しは、この1 年をかけて、活動の重複等が見られるところは整理すべきところは整理をし、時間の確保に繋がることを期待しているのであって、ふるさと教育を軽んじているわけではないということである。

それから2 番目に、県と市町村の教育長の意見交換の場を増やし、いろいろな教育課題の解決にあたりたいということで、新年度については、県の教育長も一緒に小学校を訪問し、現場の声も吸い上げていきたいということもあるし、これまで年1 回であった県と市町村教育長会あるいは学力育成会議についても、複数回設けていこうということである。

なお、この学力育成会議については、それぞれの市町村と県

の1対1の会議とするということで、教育事務所ごとに行っている今のやり方をさらに細かくするということである。

それと、組織のことで、学力向上推進会議やICTの活用教育推進会議の設置については、そうした教育長会議の充実の中で検討したいということである。

それから最後に、県の教育庁内への義務教育振興の専任課の設置についてだが、現在の小中学校教育推進スタッフを義務教育推進室として室長を配置するということである。これからこうした推進体制が強化された県の組織と合わせ、いろいろと連携しながら、いろいろな課題解決に向かっていこうと思う。

この市町村教育委員会からの緊急要望については、それぞれの市町村でも、教育委員方にも内容を承知してもらいたいということで、おそらくそれぞれの自治体の方で説明会が開かれると思う。浜田の教育委員会に対し、今、こうした事情があるということを説明させていただいた。

これについてまた、ご意見等あればお伺いしたいと思うため、よろしくお願いします。

一応、要望についてはある程度、新たな取組を県の方も考えていただいたと私は受け止めている。新年度以降、少し実際に動かしてみて、またいろいろなことが見えてくるのではないかと考えている。まず動いてみるのが大事で、内容、出てきたものについても浜田市の教育委員会で共有したいと思っている。県ともしっかり意見交換をして、変えていけたらと思う。

以上であるが何かご意見等あるか。

各委員

特になし。

(2) その他

岡田教育長

事務局からその他何かあるか。

日ノ原係長

特になし。

岡田教育長

その他のところで、委員方からご報告や質問があればお願いする。

各委員

特になし。

次回定例会日程

定例会 4月25日（木）14時30分から 浜田市役所本庁4階講堂 AB

次々回定例会日程

定例会 5月28日（火）14時30分から 浜田市役所本庁4階講堂 AB

14：32 終了